



University of Tsukuba

University of Tsukuba

筑波大学



明日のEXECUTIVE

筑波大学 社会・国際学群 国際総合学類

2023



筑波大学

University of Tsukuba

国際総合学類紹介誌「明日のEXECUTIVE」

2023年度版

発行：筑波大学 社会・国際学群 国際総合学類

発行日：2023年3月1日

編集責任者：柏木健一

編集：国際総合学類

井出里咲子、毛利亜樹

小野菜子、加藤日奈葉、小村真鈴、

高橋亜実、高橋舞

〔国際総合学類へのお問い合わせ〕

国際総合学類事務室 Tel:029-853-6010

国際人の育成

私たちが住む日本では、失われた20年または30年といわれるように、バブル崩壊後経済の低成長が続いており、少子高齢化そして超高齢化社会を迎える中、国家財政的にも政策的にも国内問題への取り組みが重視されています。人口減少下で国内経済が収縮する今日では、私たちが目を向けるべきことは、遠くの国際社会の出来事よりも身近な国内の問題であるのかもしれません。

しかし、世界を広く見渡せば、国際社会は実に様々な問題を抱えており、国際情勢は先行き不透明です。東アジアでは中国の台頭によって米中・日中関係が緊張しており、米軍撤退後のアフガニスタンではイスラーム主義組織が実権を握り、先進諸国でも保守主義やナショナリズムへの傾倒が見受けられ、権威主義体制の復活や民主主義の後退が世界各地で生じています。特に、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、戦後築かれてきた国家主権や人権といった国際規範を大きく揺るがす事態となっています。また、ウィズコロナ下での景気回復やウクライナ危機によってエネルギーや食糧の価格が世界的に高騰し、経済活動のグローバル化による相互依存関係の脆弱性が露呈しています。近年、大雨や洪水、干ばつが局地的に頻発しており、気候変動による影響が各地で生じている可能性も否定できません。SDGs（持続可能な開発目標）の達成が国際社会の共通目標とされていますが、人間開発や社会開発に関わる課題は山積しています。

このように複雑かつ予測不可能な国際社会の変化に、私たちはどのように対応したらよいのでしょうか。自由や民主主義、人権、法の支配といった普遍的価値の共有がこれまで以上に必要とされる中、国際社会の安定と発展のために何が課題となるのでしょうか。グローバル化によって国内問題も国際問題と無関係でなくなっている中、ローカルな社会や人間はどこに向かうのでしょうか。感染症、貧困、所得格差、気候変動、紛争、差別、自由貿易、規制緩和、情報の氾濫など、目を向けるべき国際社会の諸問題は無数にあり、相互に複雑に絡み合っています。

国際総合学類は、これらの問題を含む現代社会の諸課題に対し、グローバル、ローカル双方の視点から深い洞察力と分析力を身につけ、豊かなコミュニケーション力を通じて先見性と独自性に富む解決策を提示できる「国際人」の育成を目指しています。ナショナリズムや自国優先主義、保守化や内向き思考は、日本だけでなく世界的な傾向であるかもしれません。ただし、このような時代であるからこそ、グローバルな視野を持った国際人の育成は大学の重要な使命といえるでしょう。

国際総合学類での学び

国際総合学類は国際関係学と国際開発学の2つの主専攻があります。さらにその2つを横断する形で、国際政治・国際法、経済学、文化・社会開発、情報・環境という文と理にまたがる4つの分野が存在しています。これら4分

野の科目群を広く学び、その上で1つの専門分野を深く追求することになります。

（1）分析力

日々激動する国際情勢を読み解くには、確かな分析能力が必要です。国際総合学類はこの能力が身につくようなカリキュラムを用意しています。政治学の理論や政策決定のプロセス、経済動向、またはその背景にある文化等を学ぶことで世界の変化を定性的に理解できるようにすると同時に、統計学やデータ分析の授業で数値による定量的な分析能力が身につくように養成します。さらにフィールドワークの授業も設置されており、どう分析するのかを実践を通して学ぶことが可能です。

（2）コミュニケーション力

国際総合学類では3分の1近くの授業が英語で行われています。これは単純に英語を重視するというよりも、異なる文化背景による異なる言語上での他者とのコミュニケーション能力を培うためです。その中にはディスカッション中心のものや日本の伝統文化を英語で読み解く授業もあり、留学生・日本人学生双方がこの能力を育てられるように設置されています。また、国際総合学類が属する社会・国際学群には社会国際教育プログラム（通称G30）という全科目英語による留学生向けプログラムがあり、日本人学生も同プログラムの科目を履修することが可能です。

（3）総合能力

分析力、コミュニケーション力を培った上で最後はそれらを動員し、問題をより高い視点から一つの考察へまとめ上げることが大切です。国際総合学類には独立論文というユニークな制度があります。通常、すべての学生は3年次から専門ゼミに所属し研究を進めていくことになります。そして3年次末に独立論文を執筆し、専門分野に関する研究の中途段階における成長発表の機会としています。これは、個々の研究の土台であり、学生が長いスパンの中で一つの研究テーマを掘り下げ、研究により深みを持たせるためのものです。これらは4年次でさらに探究され体系化されて最終的には卒業論文（必修）としてまとめられます。様々な授業を通して培った総合的な力を専門性につなげる学びを、国際総合学類は推進します。

国際総合学類は独創性と洞察力を有し、国際社会及びそれと連動するローカル社会の繁栄と発展に寄与できる人材の育成を目指していますが、それを実現するには教員側の努力はもちろんのこと、学生自身の主導的な取り組みも不可欠です。国際社会の諸問題をどう見るのか、それらの問題の解決に向けて現在の自分はなにをすべきかを真剣に考えながら、学問に精進し、その上、国内外において実践的な活動に励む、それが国際総合学類生（「国際生」）の姿です。このような国際生（4年生）たちによって企画・編集されている本誌をぜひ紐解いていただきたいと思います。

社会・国際学群 国際総合学類 学類長
Kashiwagi Kenichi
柏木 健一

02 カリキュラム紹介

国際関係学主専攻

国際関係学主専攻では現代の国際問題に対する理解を社会科学を中心に学際的な観点から深め、ガバナンス志向的な問題解決の能力を養うことを目標としています。国際関係学主専攻では学生の選択の幅を広げるため、政治学、経済学、国際法、文化系領域など各授業領域の垣根を低く設定しています。

専門科目

国際政治・国際法分野

アジア政治	東アジア国際関係史	日本政治思想
現代日本外交史	ヨーロッパの国際関係	政治外交史
現代中国研究	日本政治	憲法I
国際組織法	ヨーロッパ政治	憲法II
ラテンアメリカ政治	市民社会論	行政学I
国際法I	中央アジアの国家と社会	安全保障論
国際法II	Globalization and Development	人間の安全保障論
国際政治学	外交法政策論	Japanese Foreign Policy
国際機構論	Public Policy	Japan and the World
国際通商論	Transnational Social Policy	
アジアの国際関係	政治参加論	

経済学分野

(国際関係学主専攻)	(国際開発学主専攻)
国際貿易論	計量経済学
国際金融論	Economic Development
公共政策分析	開発途上国における諸問題
公共経済学	北アフリカの経済と社会
ヨーロッパ社会経済史	開発と金融
ミクロ経済学	International Financial
マクロ経済学	Institutions and Economic
ジャパニーズ・エコノミー	Health Economics
基礎経済数学	
経済数学	
Mathematical Economics	
History of Economic Thought	

国際開発学主専攻

国際開発学主専攻では、国内外における新たな社会システム・概念の提案、人的資源の育成、合理的な合意形成に基づく環境保全、社会基盤整備、情報・通信技術と社会との協議など、実社会において「創造・選択」をする際に必要となる知識や能力を養います。これに向けて本主専攻には、経済・文化・社会開発の授業科目領域および情報・環境分野の授業科目領域が設定されています。

専門科目

情報・環境分野

応用数学	信号処理	開発経済学
情報科学II	コンピュータグラフィックス基礎	都市計画の思想史
データ解析	インタラクティブ CG	都市計画の歴史
水環境論	情報セキュリティ	コンピュータネットワーク
都市文化共生計画	ヒューマンインタフェース	機械学習
住環境計画概論	人工生命概論	知能情報メディア実験 A
宇宙開発	都市経済学	知能情報メディア実験 B
環境政策論	都市計画実習	地理情報システム概論
音声聴覚情報処理	都市計画原論	

文化・社会開発分野

国際開発論	Social Anthropology	人類学特講
開発人類学	途上国の教育と国際協力	現代社会論
地域開発論	北アフリカの文化と社会	スポーツ文化論
Social Development	環境人類学	国際開発協力論
教育開発論	社会開発論	国際開発計画論
International Education	国際文化論	
Outline of Japanese Education	言語人類学	

専門ゼミナール・卒業論文

国際学ゼミナール I
国際学ゼミナール II
独立論文
卒業論文

インターンシップ

インターンシップ I
インターンシップ II
海外研修 I
海外研修 II

卒業論文
専門ゼミナール・インターンシップ

専門科目

専門基礎科目（選択）

専門基礎科目（必修）

専門基礎科目（選択）

国際関係論	文化・開発論	行動調査法
比較政治学	数理科学 I	統計科学
国際関係史序説	数理科学 II	Media Politics
国際法概論	情報科学 I	English Discussion Seminar
初級ミクロ経済学	情報メディア概論	English Debate
国際経済論	法学概論	
マクロ経済学概論	政治変動論	

専門基礎科目（必修）

国際学 I
国際学 II
国際学 III
国際学 IV

国際政治・国際法分野

回答者：坂場梨花子

1. どうして国際総合学類を選んだのですか？

最初は、哲学的なことが学べる比較文化学類にも興味があったのですが、得意な英語を生かすなら国際総合学類かな～と思い決め直しました。あと、正直自分は何に興味があるのか具体的に分からなかったので、広い分野に触れることができるかな～とも思いました！

2. なぜこの分野に進んだのですか？

ゼミ見学に行って、先生のご指導が丁寧で雰囲気がいな一と思ったのが正直な決め手です笑 研究テーマも幅広く扱えると思い、ゼミの活動を通して自分が関心のあるテーマを模索していくことができることも大倉ゼミの魅力の一つだと思います！

3. ゼミではどのようなことに取り組んでいますか？

論文のテーマ発表や構想発表、国際政治系の輪読などを毎年にわたって行います。私は動物愛護をテーマに独立論文を執筆しています。動物の飼育放棄が現代日本の問題の1つになっていることに触れ、現在は動物愛護に関する法整備や団体について様々な書籍や論文を読んでいます！

20220708 独立論文 構想発表2

【テーマ】
令和元年改正動物愛護管理法の成立過程における動物愛護団体の影響

【前回までの課題】

・どの年代の法改正を取り上げるか？→法律の制定過程について、令和元年法改正について取り上げる。過去3度の法改正については、先行研究を見つげ出す。

・どの動物愛護団体について取り上げるか？→現時点で一つの団体に確定はしていない。先行研究などから、環境省の中央環境審議会動物愛護部会、WWFジャパンが鍵になっている？

【法改正のあゆみ】

計4回法改正（公布して1年後には施行）

①昭和48年(1973)9月

議員立法により「動物の保護及び管理に関する法律」制定

②平成11年(1999)12月

「動物の愛護及び管理に関する法律」に名称変更
(動物取扱業の規制、飼い主責任の徹底、虐待や遺棄に関わる罰則の適用動物の拡大、罰則の強化など大幅に改正)

○平成12年(2000)12月1日

「動物の愛護及び管理に関する法律」施行

③平成17年(2005)年6月

「動物愛護管理法の一部を改正する法律」(法律第68号)公布
(動物取扱業の規制強化、特定動物の飼育規制の一律化、実験動物への配慮、罰則の強化など 平成17年の法改正の内容)

○平成18(2006)年6月1日

「動物愛護管理法の一部を改正する法律」施行

④平成24年(2012)9月

「動物愛護管理法の一部を改正する法律」(法律第79号)公布
(動物取扱業の適正化、終生飼養の明文化、罰則の強化など 平成24年の法改正の内容)

○平成25年(2013)9月1日

「動物愛護管理法の一部を改正する法律」施行

⑤令和元年6月19日

「動物愛護管理法等の一部を改正する法律」(法律第39号)公布
(業務規定の明確化、第一種動物取扱業の適正化、罰則の強化、特定動物の規制強化、マイクロチップの装着など 令和元年の法改正の内容)

○令和2年6月1日

「動物愛護管理法の一部を改正する法律」施行（一部未施行）

【先行研究】

●平成17年 2回目の法改正

・重茂浩美 (2006)「動物実験に関する近年の動向—動物愛護管理法の改正・施行を迎えて—」『Science & Technology Trends』62：10-21。

内容
2回目の法改正を迎えて、実験動物の福祉に関しては国際的に3R(Replacement,Reduction,Refinement)の原則が確立された。しかし、規制管理の対象は「実験動物(の福祉向上)」であって、「動物実験(実験動物の利用行為)」ではない。ゆえに、改正法は理念法として確

情報・環境分野

回答者：森倅史朗

1. どうして国際総合学類を選んだのですか？

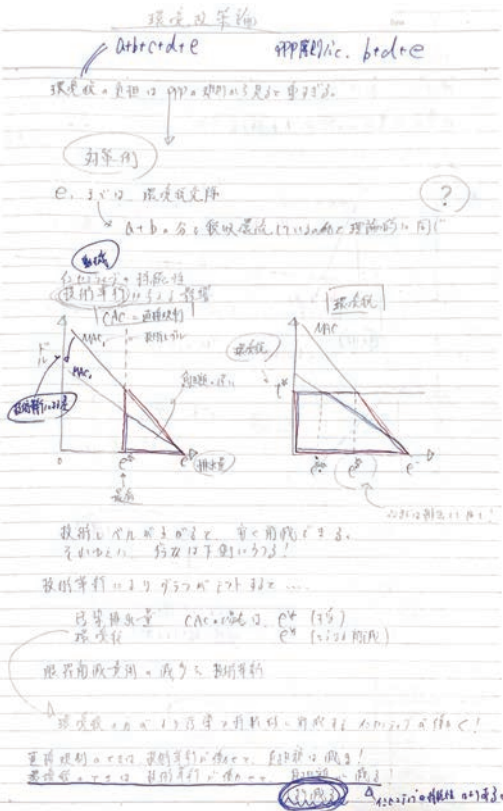
私は高校での留学をきっかけに日本のみならず海外でも活躍できる人間になりたいと考えるようになりました。しかし特定の興味や目標はなかったため、大学で幅広い分野を学び、そこから興味分野を見つけることが必要でした。ここではその目的を果たすことができると同時に海外で活躍できる人材になるために必要なことを学べると考えたため、国際総合学類を選びました。

2. なぜこの分野に進んだのですか？

講義を通して、現在私たちは環境の変わり目にいる存在であり、私たちの行動が未来世代の環境に大きく影響を与えることを学びました。ここから、私が未来世代の環境のためにどのように貢献することができるのかについて考えるようになり、それを追求したいと考えたため環境分野を選びました。

3. ゼミではどのようなことに取り組んでいますか？

現在私は、地球温暖化を抑制する再生可能エネルギーに焦点を当てて研究を続けています。その中でも風力発電に注目しており、全国に普及させるための課題を住民理解と考え、実際に風力発電に反対している団体にインタビューをすることでその要因を分析しています。今後はインタビューを基に要因を明らかにした上で、風力発電事業を推進するための解決策に関する分析をする予定です。



経済学分野

回答者：飯塚和馬

1. どうして国際総合学類を選んだのですか？

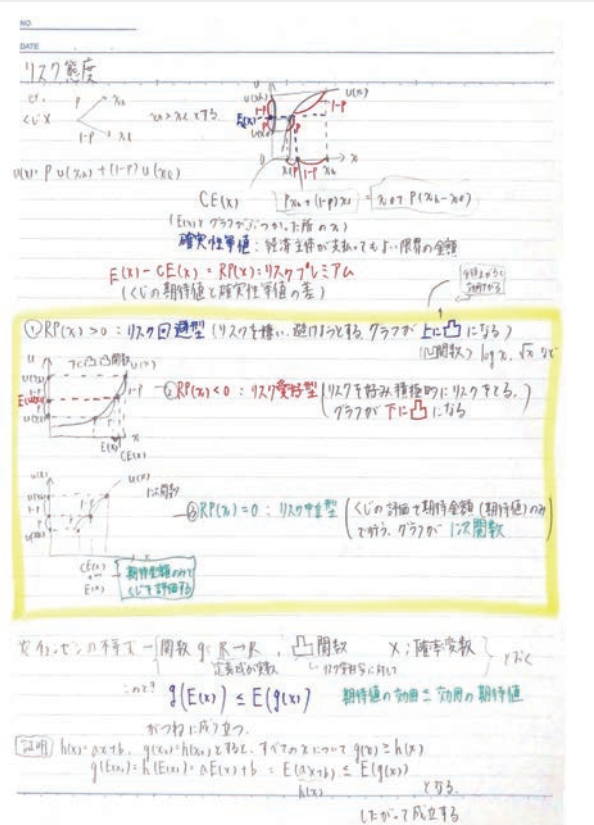
自分は大学において「学問」自体というよりは学問による社会現象へのアプローチ手法を学びたいという思いが強かったため、そうした応用的な勉強ができ、かつ世界で通用する教養を得ることができるこの学類を志望するようになりました。

2. なぜこの分野に進んだのですか？

国際学Ⅱの授業を通して経済学の扱うことのできる事象の範囲の広さ、多様なアプローチ手法などといった魅力を知ったことが直接のきっかけです。一見無関係と考えられがちな医療などの政策に応用できることを知り、衝撃を覚えたと同時に経済学に無限の可能性を感じました。

3. ゼミではどのようなことに取り組んでいますか？

主にデータを用いて公共政策や社会現象の分析を行った論文の輪読を行っています。扱う分野は経済政策にとどまらず、環境、教育政策など多岐に及びます。データ分析を自分たちで行う機会も設けられており、日々成長を感じることができます。



文化・社会開発分野

回答者：上野開美

1. どうして国際総合学類を選んだのですか？

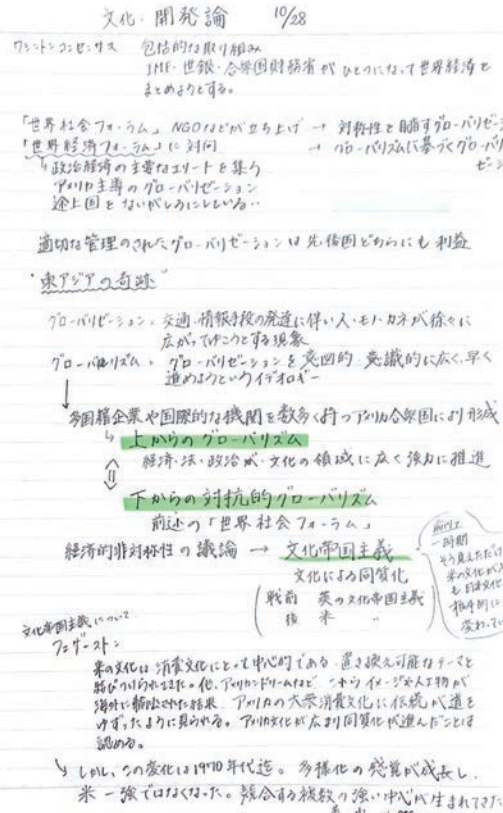
かつてのホームステイや留学の経験から、多様性を認める社会の構築に携わる仕事をしたいと思い、筑波大学の特性的に様々な学類の授業も履修でき、また、広く専門的な知識を学べると思い、国際総合学類を選びました。

2. なぜこの分野に進んだのですか？

多様性を認める社会の構築を目指すには社会全体の開発が必要であると思い、この分野を選びました。

3. ゼミではどのようなことに取り組んでいますか？

ゼミは環境社会学がベースですが、私はスポーツを用いた国際開発について学びたいと思っています。質的調査を用いるため、フィールドワーク等を行うべくどのようなことに考慮すべきか、どのような視点が必要かを学んでいます。



国際政治・国際法分野

International Politics and International Laws

政治系と国際法学系の科目を中心に、社会学類開設の憲法や行政学等を共通科目とすることで履修科目の充実を図り、国際社会の多様化、高度化、グローバル化に対応して、幅広い分野における調査、分析、政策立案などの高度な実践能力を有し、日本国内だけでなく国際社会においても指導的役割を果たすことができる人材養成を目的としています。

潘 亮

Liang Pan



- ①日本外交史。一枚一枚の資料を通して遠い過去と遠い将来の間に位置する現在の国際社会の諸問題とその意義をじっくりと観察・思索しながら、時代の躍動感を「静かに」満喫する機会に恵まれる分野です。
- ②大学を単なる問題解決の方法を習得するための場所としてではなく、問題を発見する方法、そして問題に立ち向かう姿勢を学ぶ場所として活用していただきたいと思います。

レスリー タック川崎

Leslie Tkach-Kawasaki



- ①Political Communication, New Media and Politics, Website Analysis, Online Research Methods, E-science
- ②In my classes and seminars, I encourage students to use their current strengths and also develop new areas of expertise. If you polish your key transferable skills such as communication, critical thinking, and analytical skills, you are making a good investment in yourself.

Timur DADABAEV



- ①国際関係・政治
- ②大学での4年間で最大限に生かすために目標と計画性を持ってください。

東野 篤子

Atsuko Higashino



- ①現代ヨーロッパの国際関係。欧州連合（EU）を中心としたヨーロッパの国際関係を学んでいます。ユーロ危機、ノーベル平和賞、トルコの加盟交渉の行方、ウクライナなどの周辺諸国の危機など、悲観的要素と楽観的要素が常に交錯するEUから、片時も目が離せません。
- ②たくさんの本を読み、貪欲に学んでください。

毛利 亜樹

Aki Mori



- ①現代中国研究、インド太平洋地域の国際関係、特にこの10年で大きな変化が生じているが、依然として日本の貢献が極めて重要であるところ
- ②もうダメだと思ってからさらに努力しましょう、お互いに。

大友 貴史

Takafumi Otomo



- ①国際政治理論、国際安全保障、同盟。
- ②Critical thinkingを大切に。

大倉 沙江

Sae Okura



- ①政治学、市民社会論、利益手段論、ジェンダー論。日本の福祉政策・女性政策はどのように変化しつつあるのか、またそれに圧力団体（女性団体や障害者団体と呼ばれる団体）がどのような影響を与えているのか分析し、より社会的に脆弱な立場に立たされている人々の意見が政策に反映される条件について考えています。
- ②本を読み、自分でデータを集め、分析するという訓練を通して、多様な価値観がある社会の中でも自分の人生の基盤となる考え方や価値観と一緒に身につけましょう。

茅根 由佳

Yuka Kayane



- ①東南アジア政治。特にインドネシア政治を中心に研究しています。体制変動や民主化に伴う地域独自のダイナミズムの究明に研究の面白さがあります。
- ②積極的に海外に出て多様な価値観を学んでください。

外山 文子

Ayako Toyama



- ①タイ政治、比較政治学。タイでは過去19回もの軍事クーデターが起きています。経済は順調に成長したものの、政治はなかなか民主化しないタイ政治は、奥深くて興味が尽きません。
- ②好奇心を持って、楽しみながら勉強できるといいですね。

佐藤 麻理絵

Marie Sato



- ①中東地域研究、難民研究、現代ヨルダン政治。中東は難民問題の震源地であり、政治的・社会的変動が絶えず続いている地域です。変革の途上にある中東地域（さらにはイスラーム世界）は尽きない魅力で溢れており、多様な角度・視点から考察し分析する醍醐味があります。
- ②大学は知的好奇心追求の場です。たくさん疑問を自らの意思と行動で、思う存分追求して下さい。また、疑問を抱いた対象の普遍性や自明性についてを問う姿勢も大切に。

日高 薫

Kaoru Hidaka



- ①国際政治学、安全保障、軍縮不拡散、政軍関係。安全保障をめぐる様々な政治現象を説明するための理論的研究をしています。理論は「学ぶ」のも「使う」のも面白いですが、一番は自分で「作る」ことだと思います。良い仮説を思いついたときの知的興奮（と、それが間違っていることに気づいたときの悔しさ）に日々翻弄されています。
- ②食わず嫌いせず、色々な分野の知見に触れてみてください。

Column 1

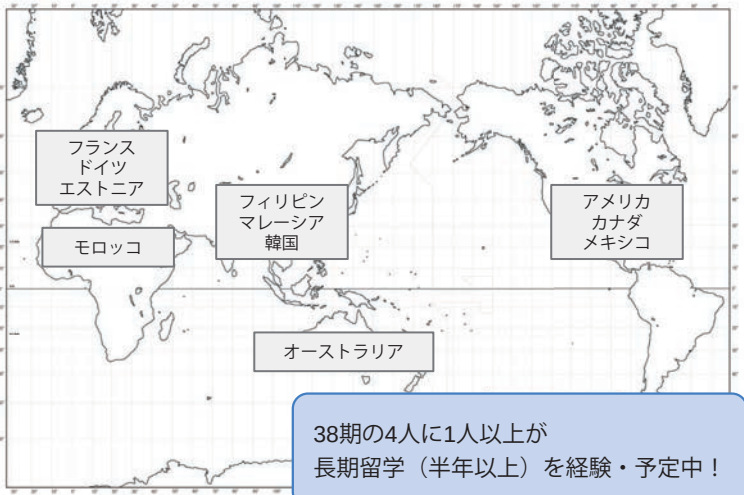
留学どこ行く？ 国際生

国際総合学類38期の留学先をご紹介します。
新型コロナウイルス感染拡大の影響で、
1・2年次は留学が困難だったため、
3年次秋・4年次秋から渡航し、
5年間かけて大学を卒業する人が多いです。

★どうやって海外に行ってる？

長期・短期留学 フィールドワーク 異文化交流事業 ボランティア	海外研修 学生団体やサークル活動 インターンシップ ・・・など！
--	---

現在、コロナ禍前に行われていた活動が徐々に再開しているため、選択肢の幅が広がっています。



経済学分野

Economics

変化する経済のグローバリゼーションと企業活動の多国籍化、地球規模の環境問題、先進国で急激に進む高齢化・少子化、経済成長の国際不均衡、発展途上国における慢性的貧困問題等の現代の経済問題を分析し、解決策を提案できる人材、あるいは様々な企業・政府活動において自分自身の行動の羅針盤となる経済知識を持つ人材の養成を目的としています。

柏木 健一

Kenichi Kashiwagi



- ①開発経済学、中東・北アフリカ経済研究 現代中東・北アフリカの地政学的特性や歴史背景、社会制度を踏まえて、現地の農家や小規模産業の経済行動をマイクロデータを用いて実証的に分析し、産業発展や技術革新、雇用創出に生かそうと研究しています。現地のフィールドから経世済民を考えることに研究の面白さがあります。
- ②文系理系の枠にとらわれず、幅の広い視野を持ち、知的好奇心を常に磨きましょう。学生時代に広めた見聞や深めた知識は将来の貴重な財産です。グローバルな課題を抱える世界に目を向けましょう。

内藤 久裕

Hisahiro Naito



- ①公共経済学、実証経済学：データとデータサイエンス的手法、衛星写真、地理情報システムを使って、経済政策や環境問題、気候変動を分析する分野です。
- ②21世紀はデータの世紀と言われています。データを使って政策や環境問題を分析したい人はいつでも私のオフィスを訪れてください。

中野 優子

Yuko Nakano



- ①開発経済学。発展途上国の人々がどのように貧困から抜け出せるかを研究しています。アフリカ農家に話を聞いて得たデータを分析し、所得向上のための方策を途上国政府、援助関係者や農家の方々と共有できることがやりがいです。
- ②大学では論理的な思考能力と、自らが生きる社会を相対視する力を養ってもらいたいと思っています。大学の勉強は「知的なときどき」に満ち溢れています。たくさん勉強して、いろいろな経験をして、悩んで、何か一つ、「これだ!」と思えるものを見つけてください。

Zhengfei YU



- ①My research field is Econometrics. It focuses on the methodology of recognizing spurious relationships and uncovering true causality from data. For example, in data we observe that collage graduates usually earn more than high school graduates. Is it because education enhances labor productivity? Or is it simply because smarter people are more likely to go to college? Econometrics provides methods to answer such questions.
- ②Good luck in discovering and following your passion.

Mohammad Abdul Malek



- ①Over the years while working with the Universities/think tank, INGO (BRAC) and Government, I have gained a diverse perspective on international development and dedicated myself to test acceptability and adoptability of different technological and institutional innovations of contemporary needs.
- ②To me, smart high school students who are motivated to contribute to the future policy reforms in his/her country, region, and international level, I recommend them to study economics/international development at University of Tsukuba. I enjoy teaching and supervising students on Development Economics, debate on global issues, and South/Southeast Asian Economics.

黒川 義教

Yoshinori Kurokawa



- ①国際貿易論、産業組織論、マクロ経済学、日本経済論。普段当たり前のように耳にしている議論が、実は、単純な経済学を使ってみると、根拠のない議論であったと分かる場合があります。それは経済学を学ぶ上で味わえる面白さの一つではないでしょうか。
- ②常に今何がプライオリティなのかを見失わないように気を付けてほしいと思います。また、短期でも海外留学することを勧めています。「日本（出身国）から来た誰々さん」というだけの裸の自分になれて楽になれます。

田中洋子

Yoko Tanaka



- ①企業・労働し、グローバル経済史、比較労働政策。研究対象：日本、世界、ドイツ。消費者として店で買い物をしたり、アルバイトとして働いたり、スマホで情報を得たり、こうした日々の生活はすべて、グローバルな経済や企業の活動から大きな影響を受けています。どんな仕組みで経済が動いているのか、その中で私たちの生活はどう変わりつつあるのかを考えています。
- ②大学生のうちに、自分の足で、五感で、世界を見て、グローバル化の現実を肌で感じてきてください。その経験は間違いなく、世界の人々への理解を深め、世界を見る眼を研ぎ澄まし、人生にとって貴重な財産となるでしょう。

MOGES Abu Girma



- ①Economic Policy and Poverty Analysis. The field of economic policy and poverty analysis blends both the theory and practical applications to solve some of the most pressing economic challenges of our time. Such a field of research appeals to me as it helps to identify reform areas to improve the life of millions of people.
- ②We live in a brave world that requires recurrent adjustment and vision. As the young generation, open yourself to the world and enjoy the challenge of shaping the new world of tomorrow.

Fatwa Ramdani



- ①Applied Geographical Information Science (GIS) for Economics and Social Studies. Applied GIS can unfold something unseen and intangible. We can explore the world and answer modern issues faced by modern society using cutting-edge technology, such as space-borne sensors, unoccupied aerial vehicles (UAV), and cloud-computing platforms. Supported by a visualization approach, makes it easier to communicate the solutions to broader stakeholders.
- ②In my class, under my supervision, and in the seminar, failure, and mistakes are expected, respected, and corrected. Don't be afraid to explore and do your curiosity. Because the foundation of science and innovation is curiosity. Let's protect and explore our world together!



情報・環境分野

Information and Environment

ITの発展は目覚ましく、国際舞台での活動を目指す学生にとって必須になるものであり、また環境・資源問題が深刻さを増し、地球規模での取り組みが必要になっています。基礎的素養として情報リテラシー、深い洞察力・分析能力を身につけさせ、さらに情報・環境分野での専門性を深め、国際舞台で活躍できる文工融合型技術者の養成を目的としています。

亀山 啓輔

Keisuke Kameyama



- ①情報工学、特にパターン認識とメディア処理。五感から入ってくる刺激を学習に基づきカテゴリ分けし、さらなる状況判断に活用する、人間が持つ知的能力をコンピュータで実現することをめざす研究分野です。昨今、いくつかの応用に対してはコンピュータが人間を越えたとも言われますが、まだまだ人間をはじめとする生物、自然に学ぶことは少なくありません。
- ②自分が思い描いているゴールを実現するためには、自分にどのような能力が必要なのかを真剣に考え、時間を無駄にせず着実に前進してください。

鈴木 大三

Taizo Suzuki



- ①他知覚メディア処理。多くの情報メディア技術を支える「信号処理」や「画像・映像処理」を基盤とした研究を行っています。たとえば携帯電話や地デジTV放送にも、そのノウハウがぎっしり詰まっています。
- ②世界の変化と共に、様々な情報メディア技術も日々進化を続けています。単に国際関係の知識を有するだけでなく、情報メディア技術の知識やそれを扱う方法を身につければ、世界における活躍の場がさらに拓けます。

岡 瑞起

Mizuki Oka



- ①研究分野の名称；ウェブサイエンス・人工生命。SNSなどのインターネットサービスを生命のように捉え、その生態系や進化メカニズムを理解する研究分野です。
- ②これからの学問には、文系・理系問わず文理融合の学問的な素養が必要になってきます。文系・理系両方の科目を学べる筑波大学・国際総合学類で一緒に学びませんか。

Simona VASILACHE



①Computer science/Software engineering. Computers represent this wonderful world that we so often depend on. However, they are very obedient, they do what we tell them to do. Learning how to make computers listen to us and work for us is interesting and cool!

②Do not be afraid to follow your dreams, to try new things. This is the time to find out what you love and pursue your passion, no matter what! Study hard, learn about the world around you, travel, read many books and make many friend!

奥島 真一郎
Shinichiro Okushima



①環境経済学、エネルギー経済学、政策分析。環境やエネルギーに関する問題について、主に経済学的な視点から分析しています。「市場」や「マネー」という手段を「人間」や「環境」という目的（善）にどのように結び付けていけばよいのか、日々考えています。

②大学生になったら、専門的知識だけでなく教養を、また「自ら学ぶ習慣」を是非身につけてください。

高橋 伸
Shin Takahashi



①ヒューマンコンピュータインタラクション（HCI）。コンピュータと人のかかわりあいという面から、よりよいコンピュータシステムを探っています。情報科学、数学、社会学、心理学、人類学、哲学、など理系文系にわたって多くの分野にかかわる学際的な研究分野です。

②国際総合学類はいろいろな分野の教員がいて、幅広いものの見方を学べる学類です。情報科学やHCIも少しかじっておくと将来何かの役に立つかもしれません。

蔡 東生
Dong-Sheng Cai



①私が行っている研究は、宇宙気象とか、彗星探査と関連しています。太陽系で、磁気を持っているのは、太陽、水星、地球だけで、水星は地球より太陽に近い軌道を回っており、到達困難な惑星です。地球の磁気は宇宙からくる放射線から人間を守っていますが、この磁気は決して未来もあるわけではありません。そこで太陽、地球の磁気観測をやっています。宇宙開発プロジェクトに参加してみたい人は、ぜひ連絡してみてください。ロケットの打ち上げや、打ち上げ場は見ている価値があります。

②18-20代の後半は生涯で一番成長の著しい期間です。この期間に、留学したり、経験を積むことは大事です。いろいろな経験を積む中で、自分の本当にやりたいことを探してください。自分の内なる声、「リトル自分（サッカーの本田選手は“リトルホンダ”といっていました）」に自分の本当にやりたいことを問い続けて下さい。

松原 康介
Kosuke Matsubara



①多文化共生の都市計画。中東・北アフリカ地域の都市計画。

②留学を通じて心身共に鍛えましょう！



白川 直樹
Naoki Shirakawa



①河川工学（水環境、水防災、水資源）
人類が生存し、生活し、活動していくために不可欠な「水」のふるまいを通して、人間社会の複雑さと自然界の深遠さを両方楽しめるところ。

②こんな時代だからこそ、筑波大学の国際総合学類に来て学びませんか。自ら学ぶ意欲さえあれば、他所にはない学究環境がここにはあります。

文化・社会開発分野
Culture and Social Development

国際舞台を目指す学生に現代社会で生起する諸現象を文化の側面からアプローチする視点を定着させるとともに、西洋中心の近代的価値観や諸制度を所与のものとすることなく、人間の文化の多様性を認識・尊重しつつ、異文化空間における広い意味で「対話（コミュニケーション）」を国際舞台で実践することのできる人材の養成を目的としています。

松島 みどり
Midori Matsushima



①公共政策・国際保健医療・インパクト評価。特に、政策のデザインや実施方法に人がどのように反応するか、そしてどうすれば、より効果的な政策が実施できるのかを定量的に研究しています。現実社会に直結した問題を研究できるといった点が気に入っています。また、人々の行動について研究をしていると、自分がいかに人間の行動に無知であるかがわかり面白いです。

②心から楽しいと思える人生を、自分のために、自分の幸せに責任をもって歩んでください。

関根 久雄
Hisao Sekine



①文化人類学地域開発論、オセアニア島嶼研究。当たり前を疑い、現象の内側に隠れている意味を明らかにすること。

②大学受験や将来の進路など、悩ましいことばかりの日々かもしれませんが。多少遠回りになっても、自分にはハードルが高いと思ってしまうようなことであっても、後悔しない挑戦をしてください。それはきっと、あとになって何ものにも代え難い財産となって返ってくるはずです。

寺内 大左
Daisuke Terauchi



①研究分野：環境人類学／環境社会学。
研究分野の面白さ：同じ環境でも人や社会によって見方や価値のおき方が異なり、かかわり方も異なる。世界の多様な人々・社会による多様な環境の見方、価値のおき方、かかわり方を学び、よりよい環境と社会の関係／よりよい環境をめぐる人と人の関係を考えることは、これからの時代とても大事なことでと思っています。

②「物事の見方が変わり、考え方が変わり、行動が変わる」。そんな学びをしてもらいたいです。

井出 里咲子
Risako Ide



①言語人類学、語用論、社会言語学、ことばと文化からひも解く人間社会の理解。地域：アメリカと日本、過去には韓国も。

②勇気と好奇心を胸に、いろいろな人と出会い、様々な景色を見て、複眼思考を身に付けてください。

柴田 政子
Masako Shibata



①教育社会史、歴史教育、比較教育。比較教育学：国際的な視点で、社会が変化する過程で教育が果たす役割を考えること。

②夢を追ってください。多様な生き方が受け入れられるようになった社会で、自分の感性を磨き信じて人生を歩み進んでください。



英語で夢をみる

フィリピン アテネオ大学

カーン 杏樹

Khan Anju

語学研修とアテネオ大学の授業時間割。

何語で夢を見るの?と何度も聞かれたことがある。大方生まれ時から耳にしている日本語の夢であり、普段英語で話す友達も夢では日本語で話していた。しかしこの短期留学の間、英語で夢をみるが多くなった。それほどに英語と共に過ごした期間だった。

参加しようと思った理由は、英語に触れたかったからだ。高校時代に比べ圧倒的に会話の機会が減り、ゼミや就活諸々で忙しくなるであろう直前の春休みに、強制的に英語の環境に身を置こうと思った。授業はリーディング・リスニング・ライティング・スピーキング、全てを網羅する授業であった。他にもフィリピンの文化を学べる授業や、アテネオ大学の生徒が催してくれた交流会もあった。国内の他大学の生徒もあり、交流も増やせるいい機会となった。対面であつたらなお楽しかったのではないかなと思うが、総合的に良い学びであつたと思う。しかし、今回の短期留学で得た一番のモノはそれではない。言語の価値である。

世界で一番話されているのは何語だろうか、答えるまでもなく英語だ。面白いことに英語は世界各地で話されているだけあって、様々な話し方が世界各地にある。我々がよく知るイギリス英語やアメリカ英語が英語なのではない。インド英語、アフリカ英語、中国英語だってある、今回私

はフィリピンの短期留学に参加した。フィリピン英語もやはり癖があり、慣れるのに時間を要したが、日本で言う方言と思えば面白い。

英語は無限の可能性を秘めている。いくら高性能な翻訳機が出たって、自分が英語堪能となり、ボーダレスに直接対話できる事実は変わらない。言語とは、不思議なもので共通言語があるだけで、お互いがぐんと親密になる。生まれが違うから、宗教が違うから、文化が違うから、と私たちはいくらでも分かり合えない理由を作り上げる。しかし、残念ながらそれは事実であり、その溝は埋まらない。だからこそ、その唯一の砦が言語なのであり、その代表格が英語なのである。異なるものを繋げるツールだからこそ、英語は選択肢を増やすだけでなく、世界に対する視野もひろげてくれる。

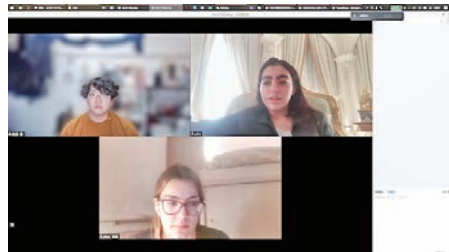
英語で見る夢は、旅行したいといった小さな夢でも、世界中に友達が欲しいといった大きな夢でも構わないと思う。大事なのは、その夢をとっかかりにどう拡大していくかだ。私は英語がもたらす矜持を身をもって感じているし、これからも世界で自分を確かめながらいくためにも、私は英語で夢を見続ける。

オンラインでの一期一会

中国 北京大学

黒田 俊

Kuroda Syun



他の留学生とディスカッションする筆者（筆者：左上）

大学3年次の秋から4年次の初夏までの間、オンライン留学という形で、中国の北京大学に留学しました。私が留学を開始した2021年の中国の水際対策は厳しく、外国人留学生に対するビザの発給はおこなわれていませんでした（2022年8月23日よりビザ発給が開始されました）。したがって私は約10ヶ月間の間、日本の、つくばにおいて留学をしました。

留学は、開始から約1年以上前より準備を始めます。私は入学当初より留学を志望しており、大学2年次の春から本格的に準備を始めました。当初、私は復旦大学へ留学しようと考えていました。しかし都合により北京大学への留学を勧められ、準備を進めることになりました。留学には受け入れ校が指定する語学力が必要な場合がほとんどです。私の場合HSK4級という、「幅広い範囲にわたる話題について、中国語でコミュニケーションをすることができ、中国語を母語とする者と流暢に話すことができる」レベルの語学力が必要でした。

前述の通り、ビザが発給されなかったためオンラインで講義を受講しました。週20時間以上中国語の講義があり、加えて英語で進行される講義を履修しました。同時に、筑波大の講義も履修しました。これは、オンライン留学は正式な学籍の異動を伴わないため、筑波大の講義も履修

することが可能だからです。北京大学の講義はすべて同時双方向、筑波大の講義はオンデマンドが多かったため、以上のような履修が可能でした。留学ではさまざまな国家の同学（中国語で「同級生」を意味する）に出会いました。オンライン留学の性質上、普通の留学のような交流は叶いませんでしたが、この留学での出会いはかけがえのないものです。

このオンライン留学を通じて、さまざまなものを手に入れました。1つは語学力です。日本にいながらも週20時間以上の語学の講義を履修することで、私の語学力は確実に鍛えられました。また精神の面でも鍛えられました。先が見えない状況下、独りつくばで留学をするという体験は、かなりストレスフルでした。しかしその体験によって、私の精神はある程度鍛えられましたし、いい経験だと今では思います。

執筆時現在、多くの国の水際対策は緩和され、以前のように留学することが可能になりつつあります。オンライン留学には一長一短がありますが、留学の新たな形として受け入れられていくように感じます。留学にはそれなりの準備が必要ですが、なにより最初に手を挙げる度胸が必要です。皆様の健闘を祈ります。

自分と向き合った10カ月

オランダ ユトレヒト大学

西森 麻衣

Nishimori Mai



アムステルダムにて、ルームメイトたちと（筆者:右から2番目）

私は 2021 年9月から 2022 年7月までの約 10 ヶ月間、オランダのユトレヒト大学法学部で交換留学をしました。ユトレヒトは、首都アムステルダムから電車で約 30 分、中央駅周辺は賑わう一方で、大学のキャンパスの隣には農場も広がる自然豊かな街です。

オランダは、他国から勉強や仕事に来る人々が非常に多く、国際色豊かです。ヨーロッパ各国はもちろん、アメリカ、台湾、韓国やタイからも留学生が来ており、母国の料理を作り合ったり、パーティーでは我を忘れて歌い合ったりと、異文化交流を楽しみました。とはいっても、留学当初は自分を押し出すことができず、いつも聞き手に徹するばかり。オランダ人の友人からはいつも、「自分はどう思う?どうしたい?」と聞かれ、もっと自分の意見を言ってもいいし、言ってくれない気持ちが分らないよと言われました。言いたいことを我慢していたわけではないですが、それから少しずつ、自分の意見をはっきりと伝えるように心がけると、徐々に自分対しても自信がついていくことに気づきました。アドバイスをくれた友人は、もっと自分らしさを出して!とってくれていたのでしょう。自分の意見を積極的に発信することは、コミュニケーションを円滑にするためにも大切。頭では分かっていたつもりですが、実践力は留学したか

らこそ、身につけることができたなと感じています。

法学部の授業は、1日1コマが主流でしたが、授業後も休んでいる暇はありません。授業は講義とセミナーが設けられており、特にセミナーは学生主体でディスカッションを行うため、積極的に参加するためにも事前の準備が必須でした。毎回、教授から大量の判例や文献が送られてきます。事前課題をこなすことに精一杯の毎日で、これは10ヶ月間変わりませんでした。ですがこのおかげで、法学に対する知見を深めることができ、勉強に対するモチベーションは常に維持できていたと思います。何よりも、人権やジェンダーについて、ヨーロッパの視点で学ぶことができたのは貴重でした。単に知識を詰め込むだけでなく、セミナーを通してそれを実際に使い、主体性が身についたと実感しています。

勉強に追われた毎日でしたが、それでも現地の学生に混じり、彼らと同じ「日常」を送ることができたのはかけがえのない思い出です。この留学を経験したからこそ、学業やコミュニケーションに自信をつけることができたと思います。語学の向上、友達作り、海外での生活など留学の目的は多種多様ですが、自分とじっくり向き合う時間が作れるということも、留学の醍醐味だと思います。

留学で得たもの

アメリカ ニューヨーク州立大学オスウェゴ校

金澤 有希

Kanazawa Yuki



バスケットボールのメンバーと祝勝会（筆者：手前一番左）

私は大学2年の2021年8月から3年の2022年6月までの約10カ月間、アメリカのニューヨーク州立大学オスウェゴ校へ交換留学をしていました。ニューヨーク州ですが、マンハッタンからバスで5時間、オンタリオ湖に面した自然豊かな大学です。新型コロナウイルスの影響で、当時の日本の大学ではオンライン授業がほとんどでしたが、留学先では、屋内のマスク着用は義務付けられましたが対面での授業が実施されました。私にとっては大学入学以来、初めての完全な対面授業となりました。

大学では、開発経済学、グローバル化と貧困、統計など専攻に関する授業の他、コミュニケーションやマーケティングなど幅広い分野についても学びました。中でも、戦後の日本の経済成長や原爆について学んだことは、日本をアメリカの視点から観るという貴重な経験でした。また、どの授業も毎回の課題に加えてテスト、レポート、プレゼンテーションがありました。グループワークやグループプレゼンテーションが多かったことは、意見を主張し議論を重ねてまとめあげるアメリカらしさを感じました。学生同士の速い会話に苦しみながらも授業の準備をしたり、アメリカ人の堂々としたプレゼンを身近で見たりしたことは、プレゼン能力の向上に繋がったと共に、その重要性を改めて認識できました。

勉強以外にも、留学では日々の生活で多くの出会いと学びがありました。日本が好きなルームメイトとは、日本語と英語を教え合ったり、隣の町まで彼女の運転で日本食を食べに行ったりしました。バスケットボールでは唯一の留学生でしたが、温かく迎えてくれました。練習で使う英語だけでなく、雑談の中で宗教や行事の慣習、スラングや慣用語なども教えてもらいました。アメリカ人以外にも、他国からの留学生とも多く知り合うことができました。韓国人とは味覚や礼儀など共通点があり、共に初めての留学生生活を支え合いました。長期休暇には一緒に旅行するほど仲良くなりましたが、話をしていくうちに、非婚主義や夫婦別姓、食事のマナーなど隣国でありながらも日本との違いも多く知ることが出来ました。

語学力を上げたい、多様な価値観の人と交流したいという思いで申し込んだ留学でしたが、帰国して思い返すと想像以上の学びと出会いがありました。筑波大学には、様々な種類の留学プログラムがあり、自分の行きたい国に短期でも長期でも行くチャンスがあります。悩んでいる人はぜひ留学に挑戦してみてください。

学生の時にしか出来ない経験を

木下 周平

Kinoshita Syuhei



夏祭りイベントの際の写真

みなさんは「子どもの貧困」という問題をご存じでしょうか？簡単に言うと、主に経済的な要因によって十分な食事をとることが出来ない、十分な教育の機会を享受することが出来ない子どものことを言います。厚生労働省によれば日本でおおよそ7人に1人の子どもがこの問題を抱えているそうです。大学1年生の時に友達に誘われて参加したボランティアでの研修でこの現状を初めて知り、衝撃を受けました。「日本＝豊か」というイメージをずっと持っていたため、尚更驚いたのと同時に関心が湧きました。貧困家庭とはどんな家庭を指すのか、そこにいる子どもたちはどんな子なのか等、様々な疑問を抱えたままボランティア活動をしました。具体的には、学校にお邪魔して子どもたちに算数を教えたり、放課後の居場所支援を行ったりしました。ただ、このような活動をする中で感じたのは、家庭環境に違いはあっても、明るく元気な子どもが多く、中には子どもの方から私に話しかけてくれて、自分が抱いていた子どもの貧困のイメージとは異なっていたということです。勿論、自分が見た光景は一部分に過ぎないと思います。つくばのような関東郊外と首都圏、地方とでは取り巻く環境が大きく違いますし、何より一番の貧困要因である所得も異なります。しかし、地域に限らず共通しているのは、「生まれた環境によって自分のしたい

ことが出来ない」子どもたちがいるということだと思います。素敵な夢を抱えていても、置かれた環境により実現することができない、そんな悲しい現状は早く打破すべきだとボランティアを通して感じました。

現在は、このボランティアだけで子どもの貧困に対し全てを分かったような気になるのは違うと感じ、ボランティア経験を基にして、首都圏にある子どもの貧困の問題解決に携わっている別のNPO法人で活動をしています。少しでも「子どもの貧困」という問題が是正されるように、大学卒業後も何らかの形でこの問題の解決に貢献出来ればと思っています。

最後にこれを読んでいるみなさんへ伝えたいことは、学業は勿論大事ですが、大学時代に色々な経験をしてほしいということです。国際の学生は積極的に学業以外の活動をしているという印象が強いです。実際、私の周囲の友達がまさにそうで、日々刺激を受けています。私のようなボランティアという形で、あるいはアルバイトやインターン、留学など様々な機会が大学時代に訪れます。そこで得られた経験というのは、社会に出てからも必ず生きてくるはずです。自分の時間を十分に持てる学生時代だからこそ、是非恐れずに色々な事にチャレンジしてほしいと思います。

次へ

渡邊 由貴

Watanabe Yuki



授業で使用する教材を作成する様子

日本には高校進学が難しい子どもたちがいる。このことを知ったのは、浪人をしていた夏休みのこと。その子どもたちのために何かをするために、まずは国際的なことについて学ぼうとこの学類を志望した。外交や国際関係に特段興味があつたわけではなかったが、国際関係や国際政治の授業はとても面白い授業ばかりだ。3年次から始まったゼミでは、在学してからずっと関心のある在日外国人に関する研究を進めている。

現在私は、主に外国人児童生徒への日本語学習のボランティアを行っている。コロナ禍がちょうど始まったころに大学生活が始まり、1年のうちはオンライン授業ばかりだった。2年の夏休みに見つけた、地域の外国人児童生徒への日本語教室への参加が日本語教育ボランティアとの最初の出会いだった。秋学期からは、市内の学校での取り出し授業を引き受け、週1回のペースで日本語指導に携わってきた。国際総合学類にしながら日本語・日本文化学類の学生でもあるような気分である。3年次からは、新たにオンラインでの日本語指導や外国語で日本語を教える経験もし、関わる日本語学習者や日本語教育関係者の幅が広がった。そのような活動の中で、徐々に日本における日本語教育の地位の低さや日本語を教えている人の大半がボランティアであるという事実、制度的な問題、自分ではどうしよ

うもできないような壁にぶち当たり、自分の無力さを感じると同時に、制度が十分に整っていないからこそ外国にルーツをもつ児童生徒が日本において日本語教育を受けることを当然の権利として考えるようになった。限界や制約は何事にも存在するが、どのように向き合っていくのかはその時々で考えなければならない。

ある人に「世界を変えることはできないんだよ。ヒーローじゃないんだから。」と言われたことがある。とても悔しかった。変えようと思わずにいたらそれは実現しないと私は思っていたからだ。今でもそう思っている。何事も信じることから始まると思う。だからこれからも何があっても信じることは続けたい。いつか何か変えられると信じて進んでいこうと思う。

亡き友に捧ぐ

2022年秋

「ハンセン病」が繋いだ世界と自分

関根 健史

Sekine Takeshi



コロニーで仲良くなった子どもとの一枚

私は大学1年生から、インドワークキャンプ団体namaste!という学生団体で活動しています。namaste!は、ハンセン病による差別問題や貧困問題がいまだに残るインドで、ハンセン病コロニーに住む人たちの自立を目指して活動する団体です。

みなさんはハンセン病について知っているでしょうか。ハンセン病は感染症の一つで、神経の麻痺や顔や手足の変形といった症状を引き起こします。体の一部が変形するなど目に見える後遺症が残ることから、ハンセン病患者・回復者はインドだけでなく日本や世界の様々な地域で偏見・差別の対象となってきました。

団体では、インドのハンセン病コロニーに2週間ほど住み込み、村人と生活を共にしながら井戸の建設や家屋の修繕といったインフラ整備をする活動や、歯磨きの普及活動や絵本の読み聞かせを通じて衛生環境の改善や教育支援を行う活動をしています。その中で、日本人学生がハンセン病コロニーに滞在し、生活を共にしながらワークを行う事でコロニーの環境を改善するとともに周囲の差別意識をなくすことを目標にしています。

貧困削減の分野に興味を持っていた私は大学入学後、実際に現地に赴いて国際協力ができる学生団体を探していました。そんな時に出会ったのがnamaste!でした。「差別問題」に向き合って活動している団体だという事、また純粋にインドに行けるという事に興味を惹かれnamaste!での活動

を始めました。

しかし、新型コロナウイルスによる渡航制限の中で、約3年の間ワークキャンプ活動は中断を余儀なくされてしまいました。ようやく私がインドの地を踏むことができたのは3年生の夏休みになってからのことでした。初めて日本を飛び出し、インドで約2週間生活をしたことはとても刺激的な出来事でした。その中で、自分にも貧困問題や教育問題といったものを少しずつではあっても良くしていくことができるのだという事を実感しました。また、村人とともに時間を過ごす中で、彼らの心の温かさを知るとともにこの活動を続けてきた先輩方が丁寧に信頼関係を築いてきたことを知りました。

自分にも世界を良くするためにできる事があるのだという事を実感した一方で、自分一人で行える事はあまりにも小さいと感じました。そしてその時に感じたもっとたくさんの人に大きなインパクトを与える事が出来るようになりたいという想いを軸に、将来の方向性を見定める事が出来ました。

最後に、国際総合学類、ひいては筑波大学に来て一番良かったと思えたことは人との出会いです。ここに来なければ、私は自分が本当にやりたいことを見つける事ができなかったのではないかと思います。皆さんも、国際総合学類で多様な挑戦をする仲間たちと切磋琢磨しいながら自分の可能性を広げてみてはいかがでしょうか。

身近な世界を自分ごとに

大竹 里奈

Otake Rina



ベンチャーでの長期インターンやら何やら、入学してからの2年半の間興味の赴くままに色々飛び込んで来ましたが、その中でも議員インターンは私にとって経験としても学びとしても、非常に実りあるものだったように思います。議員インターンとはそもそも何か、という方向けに簡単に説明すると、地方ないし国会議員の元で活動をともし、実体験として政治への理解と関心を深めることが出来るものです。18歳まで参政権が引き下げられたとはいえ、どうしても政治や政治家はメディアの向こう側なイメージを持ってしまいがちで、特に若い世代では自分にはあまり関係ないと感じる人も少なくありません。私自身、選挙は欠かさず行くタイプでしたが議員の存在はどこか遠くに感じていました。議員インターンは、そんな大学生が政治を身近に感じる良い機会です。私の場合は、日本の子育て・若者政策に元から強い関心があり、その辺りへの活動を中心に行っている議員さんをインターン先として選んだことで、一種のフィールドワークのような活動が出来ました。場所は子育ての街として話題となっていた千葉県の流山が中心でした。例えば、いくつか子ども食堂で見学やお手伝いをし、各々の食堂が持つカラーの違いとその理由を知る機会を頂きました。最近では有名になってきた子ども食堂も、居場所支援や貧困対策の何をメインにしてい

るのか、対象は誰かなどが異なります。また、育休中のお母さん方のコミュニティでお話を聞いたり、他の議員さんや市役所の子ども・若者支援に携わる課の方と繋いで頂いたりしました。このときに得た経験や繋がりは、現在の活動や勉強でも役に立つことがあります。

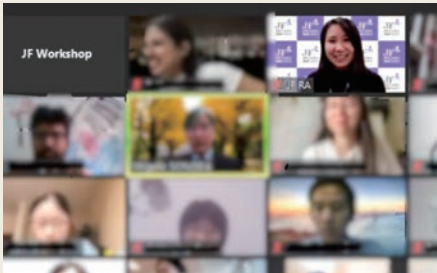
多くの国際総合生が世界に関心を持っています。とはいえ、愚直に国内のローカルな課題に向き合う時間があってもいいと思いますし、そこから広がる興味・関心から得られるものは少なくは無いはずです。また今回はエージェントを経由しての参加でしたが、議員さんによっては直に門戸を叩くことを許可している方もいます（勿論相手の都合を考えてからにしましょう）。インターンという形で無くとも、政治活動を知りたいという若者を応援してくれる議員さんは意外と沢山いらっしゃると思います。実際にインターンが終わってからも、関心がある社会問題に取り組んでいる議員さんにアポを取ることもありました。議員という存在は、意外と身近に会って話を聴いたり手伝える存在だと知ることが出来たのは、インターンに参加して得られた大きなメリットです。

「好き」を追求した自分の軸探しを

2022年4月まで：日本研究・国際対話事業
(外国における日本研究者支援、知的交流の推進)

2022年4月以降～現在：広報および顕彰事業の運営
(日本国内外における国際文化交流の振興、
国内における多文化共生の推進)

阿部 夏実 (2017年度卒業)
Abe Natsumi



様々な国から多様な分野の学生が参加するワークショップにて、司会中の様子。

私は学類時代からその後の修士まで、幼い頃から大好きだった英国をフィールドに、ナショナリズムやアイデンティティに関する研究をしていました。その過程で「伝統的な外交」と一定の距離を置きつつ、公的に国際交流事業に関わりたと思うようになり、外務省所管の独立行政法人・国際交流基金(The Japan Foundation)に入職しました。JFは諸外国における対日理解と国際相互理解の促進を目的に、日本の文化発信や日本語教育支援等、多種多様な文化交流事業を世界中で実施しています。

この春に部署異動がりましたが、入職してからこれまでの3年間は「日本研究・国際対話事業」に携わっていました。日本についての研究を行う海外の研究者や大学院生、大学や研究機関に対し、助成や訪日機会を提供する「個」への支援のほか、研究者同士、いわば「個」と「個」を繋ぐ「ネットワーク形成事業」に関わってきました。昨今、社会における課題が複雑化していることを背景に、「日本研究」も様々な視点を取り入れ、国際的・学際的であることが求められるようになっていきます。そこで、国や言語・専門分野の枠組みを超えた学会開催の支援や、各国の大学院生向けの共同研究ワークショップを行い、研究者同士を繋げることで日本研究の可能性を広げるお手伝いをしてきました。JFの多くの事業は、すぐに結果が出

るものでも、必ず芽が出るものでもありません。ただ業務に携わる中で、過去にJFの支援を受け研究者となり、現在精力的に後進の指導にあたっている先生方に数多く出会います。10年、20年後を見据えた地道な「種まき」のような仕事ですが、その循環に携われている感覚は何よりも変え難いものです。私のお手伝いが、日本研究、ひいては人文社会科学分野を含めた学問全体の発展に少しでも寄与することを願っています。

「外務省所管の独立行政法人」という特殊な組織の中で国際交流に関わることで、私は今も学生時代の研究テーマに向き合い続けています。国際総合学類の仲間は様々な場所で活躍していますが、結局のところ彼らも、「興味があることを追求していたら今の場所に行きついた」ということに尽きるのではないかと思います。互いの「好き」に関心を持ち、それぞれが進む道を純粋に応援し合える友人に大学生活の中で多く出会えたことは幸運でした。私の関心をライフワークと呼べるものにしてくれたのは、そんな友人たちとのちょっとした時間の積み重ねだったと思います。皆さんが学類の友人と切磋琢磨しながら、「これが自分の軸だ」と言えるものを見つかけられますよう、心から応援しています。

可能性を拡げるということ

社債発行提案並びに引受
部署名：第一デット・キャピタルマーケット部、役職名：課長代理

橋口 真美 (2014年度卒業)
Hashiguchi Mami



2020年1月、国際生有志によるフットサル会での1枚。
後ろから2列目、左から2番目が本人。



私が筑波大学に入学してから早12年。このような節目の年に「明日のEXECUTIVE」への寄稿の話を頂戴し、それを機に自身の在学時代を思い起こしましたが、「国際総合学類に入学してよかった。」、今でも心からそう思えるほど、国際は私の支えであり、帰る場所となっています。

私は2015年に国際総合学類を卒業後、金融機関に入社し現在育休を取得しながら2人の子を育てています。入社後は、個人・法人営業に従事した後、現在も所属するグローバル・インベストメント・バンキング部門にて事業会社の資金調達の一環である社債の引受業務に携わっていました。産休に入る前の主な担当は国内企業であり、日々変動するマーケットと対峙しながら顧客である事業会社の資金調達ニーズに応じて債券発行の提案から引受までの一連の過程全てを担っていました。加えて、昨年ESG・SDGsへの関心の高まりと共に拡大してきた「SDGsファイナンス」の推進にも取り組んでおり、グリーンボンド等の発行引受も行なっていました。

元々在学中は途上国開発に携わることのできる政府系機関やNGOを志していた私ですが、在学中のNGOでの活動や就職活動を契機にビジネスとしての社会貢献に関心を持つようになりました。その中で「インパクト・インベストメント(経済的な利益を追求すると同時に貧困や環境といった社会的課題の解決を図る投資)」の存在を知り、金融の世界に新卒で足を踏み入れました。在学時代の専攻はアジアの国際関係であり、金融の知識はほぼ

ゼロベース。そんな私が不安を抱きつつも未知の領域とも言える金融の世界に飛び込むことができたのは、留学生生活含む5年間の筑波生活で培ったチャレンジ精神の賜物です。

いま現在将来の夢が明確でない、という人も安心してください。私たちを取り巻く環境・社会情勢は日に日に変化しています。国際総合学類には政治経済のみならず、国際法、文化社会開発、情報・環境と、幅広い分野を学ぶ環境が整っており、それらを横断的に学ぶことでみなさんの可能性を大きく拡げることが可能です。私自身、他学類の講義を受けてみたり、教職課程をとってみたりと、それはもうあちこちに手を伸ばしました。もちろん一つのことを極めることは素晴らしいことですが、環境の流れに身を任せて気の赴くままにやってみる、ということもまた面白いものだと思われ筑波の先生方や先輩・後輩、そして友人たちが教えてくれました。講義中、サークル活動中に関わらず、いつだって活発な議論を交わすことのできる環境が国際総合学類にはあります。人との出会いも大きな財産の一つ。多様な考えを持つ仲間との出会いもまた、あなたの可能性をきっと広げてくれることでしょう。今、あなたの前には様々な可能性を秘めた道が開けていると思います。その可能性をこの国際総合学類で大いに広げてみませんか。未来の国際生と世界のどこかで会える日を楽しみにしています。

グローバルでも、ローカルでも

宮城県の新聞社「河北新報」記者

齋藤 雄一 (2015年度卒業)
Saito Yuichi



プロ野球東北楽天の本拠地「楽天生命パーク宮城」にて

地元・宮城県の新聞社に記者職で入社し、8年目になりました。グローバルな学類を卒業したのに、仕事は東北6県に根を張って取材する「どローカル」。でも、この進路選択には大学合格後の4年間で少なからず影響しています。

「海外を舞台に働きたい」「世界のどこかで困っている人の力になりたい」。このような思いで国際総合学類を志望する方は多いのではないのでしょうか。私もその一人です。古里の港町を飛び出し、人生のスケールを広げようと夢見ていました。中学2年の学級文集には「国際ジャーナリストになりたい」と書いたことを覚えています。

前期試験に最低点で滑り込み合格し、キャンパスライフに期待を膨らませていた時、転機に直面しました。2011年3月11日。東日本大震災です。

実家は床上浸水をぎりぎり免れましたが、周囲は漂着物とヘドロで埋め尽くされました。ライフラインは途絶。父が自家発電機を駆使して組み上げた水を求め、近所の人が長蛇の列をつくりました。徐々に明らかになっていく東北の甚大な被害。漠然と想像していた「世界のどこかで困っている人」は突如として、自分のすぐそばに表れました。

揺らいだ未来図の答えを求め、入学後は積極的に海外へ向かうようにし

ました。記憶に残るのはインドで参加した農村開発のインターン。貧困地域の高齢者に何が不足しているか問うと、笑顔で言われました。「私たちはこのままで十分」。予期せぬ答えに戸惑った後、支援する側、される側の図式を勝手に決めつけていた短慮を恥じました。

逆に手応えを感じたのは、震災の経験を国外に伝える政府のプログラムでした。ラオスを訪ね、現地の学生に被災の記憶を語ったり、復興の様子を動画で見せたり。自分のやるべきことが分かったような気がして、地元に戻ろうという決意が固まりました。

就職後は岩手県に配属され、津波でずたずたになった鉄道がつながる喜びや、今もやり切れなさを抱える遺族の悲しみに触れました。現在はプロ野球の東北楽天ゴールデンイーグルスを担当。地元の期待を背負った選手たちを追い、日本各地の球場を飛び回る日々を送っています。

結局、働くフィールドはどこでもいいんだと思います。学生時代に大切なのは試行錯誤しながら、「何がしたいか」を突き詰めること。文理を問わない幅広い学習環境を備え、帰国子女や留学生ら多彩なバックグラウンドを持つ学生が集まる国際総合学類には、そのためのヒントがたくさん転がっていると思います。安心して、飛び込んでみてください。

大学は「雑食性」の学びを

政府間組織 職員

澤山 凌介 (2018年度卒業)
Sawayama Ryosuke



韓国ソウルのフォーラムにてプレゼンを行ったときの様子。

私は2018年に国際総合学類を卒業した後、大学院を経て、現在は韓国・ソウルにある日中韓三国協力事務局という政府間組織で働いています。外交官や一般職員とともに、その名前のとおり、日本、中国と韓国の協力推進に取り組んでいます。言うまでもなく日中韓は政治・安保を巡る対立の多い「近くて遠い国」同士ですが、少子高齢化社会、自然災害、環境問題など、三国共通の関心事も存在し、あまり注目されないところで協力は着実に進んでいます。日々の仕事では中韓の仲間と一緒に日中韓英の4ヶ国語がごちゃ混ぜに飛び交う職場で各事業の企画・運営をしています。

こういう面白い職場で働けているのも、大学生の頃にあれやこれやと様々な分野の講義を受けていたからだだと思います。というのも、私は入学当初、日米関係に興味があり、将来も当然それに関連した仕事に就くと思っていましたが、入学後、閑雲に他分野・他学類の講義を受けていたら、東洋哲学や中国の方言に関する講義を通じて中国に興味を持ちました。それをキッカケに中国政治のゼミに入り、中国へも二度留学し、最終的に今の中国と関連した仕事につながっています。

これから大学生になる皆様は、時間と体力の許す限り様々な分野とその考えに触れてみてください。大学に入ると、勉強の視野が狭まってしまい

がちです。オールラウンドに勉強していた高校までとは違って、大学では初めて専攻というものが、「専門性」という言葉に駆られて自分の専攻以外にあまり目を向けなくなってしまうことがあります。しかし、こんなことを言うと怒られるかもしれませんが、学士課程で得られる専門性はたかが知れています。中途半端な専門性を追求するよりは、まずは自分が本当に興味のある分野・テーマを探るために専門外の科目も多く受講してみてください。筑波大学はまさにそれが可能な、比較的自由に他学類の科目を受講できる制度があります。大学の4年間を経て、色々学んだ結果、専門を深めたいとなれば大学院という選択肢がありますし、アカデミア以外で追い求めたいキャリアの選択肢が浮かび上がってくるかもしれません。それをはっきりさせるためにこそ、大学時代は「雑食」を意識してください。大学は、いくつかの必修科目を除けば、自分の学びたいことを好きなだけ学べる場所です。受験勉強で疲弊している高校生の皆様は大学入学が一つのゴールに見えていると思いますが、これまでにない自由の与えられたスタート地点だと思って、好奇心を大いに働かせ、今後の人生の糧となるような学びと経験を得てください。応援しています！

08 学生紹介

①出身地・出身校 ②所属ゼミ ③行きたいところ ④死ぬまでにしたいこと ⑤将来像



- ①三重県 三重県立川越高校
- ②関根ゼミ 文化人類学
- ③イスファハーン
- ④ガンジス川でバタフライ
- ⑤人間のプロ



- ①神奈川県 桐蔭学園高校
- ②関根ゼミ
- ③ロンドン
- ④世界一周旅行
- ⑤楽しく生活していきたい。



- ①秋田県 秋田県立秋田高校
- ②内藤ゼミ 公共・実証経済学
- ③ブルーラグーン
- ④国会演説
- ⑤常に中庸たる人でありたい



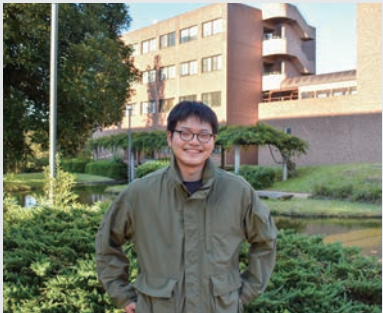
- ①宮城県 仙台第三高校
- ②外山ゼミ 東南アジア政治
- ③京都
- ④バンジージャンプ
- ⑤世界一周



- ①長崎県佐世保市 長崎県立佐世保北高校
- ②中野ゼミ 開発経済学
- ③アフリカ
- ④世界一周
- ⑤BIGな人間になる



- ①千葉県 東葛飾高校
- ②外山ゼミ
- ③エアーズ・ロック
- ④世界一周旅行
- ⑤楽しく生きる



- ①愛知県 杜若高校
- ②大友ゼミ 国際関係論
- ③ベトナム
- ④バンジージャンプ
- ⑤世界一周



- ①茨城県 茨城県立土浦第一高校
- ②田中ゼミ 経済史
- ③シチリア島
- ④お酒作り
- ⑤お酒でみんなをハッピーに!



- ①東京都 都立駒場高校
- ②中野ゼミ 開発経済学
- ③イタリア
- ④バイクで日本一周
- ⑤自由で楽観的な大人!



- ①岐阜県 岐阜県立岐阜北高校
- ②黒川ゼミ 国際貿易
- ③カナダ
- ④スキューバダイビング
- ⑤想像以上の自分



- ①千葉県 二松学舎大学附属柏高校
- ②大倉ゼミ 市民社会論
- ③南アフリカのライオンズヘッド
- ④日本中のミニシアター巡り
- ⑤ワークライフバランスを上手くとりながら楽しく生きる!



- ①愛媛県 愛媛県立松山南高校
- ②田中ゼミ
- ③マレーシア・イタリア
- ④億万長者になる
- ⑤白いふわふわの犬とお母さんと一緒に幸せにマレーシアで暮らす



- ①高知県 高知県立高知追手前高校
- ②柴田ゼミ 比較国際教育
- ③高千穂峡
- ④オーロラを見る
- ⑤人に優しく、自分にもっと優しく生きる



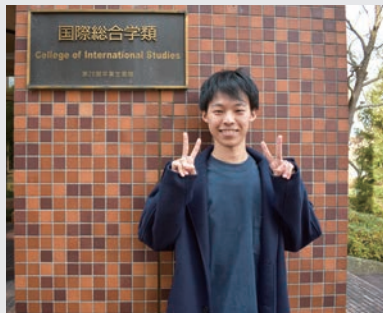
- ①茨城県 清真学園高等学校
- ②関根ゼミ 文化人類学
- ③台湾、オーストラリア
- ④憧れのレディーガガのライブに行くこと!
- ⑤自由に、寛容に生きる!



- ①栃木県 栃木県立宇都宮南高校
- ②寺内ゼミ 国際開発
- ③カッパドキア
- ④漫画を描きたい
- ⑤笑顔の絶えない世界を支える人でありたい



- ①東京都 私立桜丘高校
- ②潘ゼミ 日本外交
- ③パラオとドバイ
- ④めっちゃきれいな海でスキューバダイビング
- ⑤イケメンとかじゃなくカッコイイ人になりたい



- ①千葉県 千葉県立船橋高校
- ②柏木ゼミ 計量経済学
- ③ニュージーランド
- ④富士山登頂
- ⑤立派な親父



- ①千葉県 私立芝浦工業大学柏高校
- ②井出ゼミ 言語人類学
- ③モンレーベイ水族館
- ④世界遺産巡り
- ⑤幸せな毎日を過ごす

08 学生紹介

①出身地・出身校 ②所属ゼミ ③行きたいところ ④死ぬまでにしたいこと ⑤将来像



①東京都 帝京高校
②川崎タックゼミ 文化人類学
③モロッコ
④ハイパーポリグロットになる
⑤複数言語を使いこなすポリグロット



①東京都 東京都立国立高等学校
②寺内ゼミ 環境社会学
③ヴェルサイユ宮殿
④One directionのライブに行く
⑤趣味を楽しんでいた



①沖縄県 糸満高校
②井出ゼミ 言語人類学
③オーストラリア
④世界一周
⑤幸せな家庭を築く



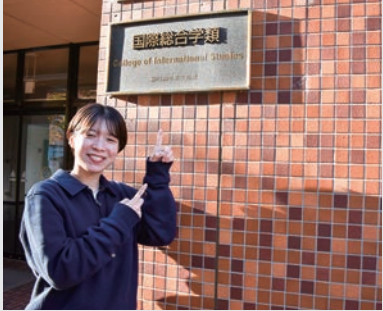
①千葉県 千葉県立佐原高校
②関根ゼミ 国際開発
③マチュピチュ
④バンジージャンプ
⑤お金持ち



①埼玉県 埼玉県立浦和第一女子高校
②中野ゼミ 開発経済学
③自然が作り出した美しい場所
④世界中を旅する
⑤海外で生活する



①愛知県 愛知県立明和高等学校
②寺内ゼミ 環境社会学
③北海道
④美味しいものをたくさん食べること
⑤幸せな生活をする



①茨城県 茨城県立水戸第二高校
②寺内ゼミ 人類学、環境社会学
③フィンランド
④スカイダイビング
⑤自分も周りも幸せに生きる



①山口県 桜ヶ丘高校
②関根ゼミ 文化人類学
③ウユニ塩湖
④世界196カ国制覇！
⑤長寿



①長野県 長野県立屋代高校
②柴田ゼミ 初等英語教育
③マルタ島
④アレルギー克服
⑤不完全であり続ける



①佐賀県 佐賀県立致遠館高校
②大倉ゼミ 市民社会論
③トルコ
④自分の家を持つ
⑤ゆっくり生きる



①秋田県 秋田県立横手高校
②奥島ゼミ 環境政策
③京都、フィンランド
④日本一周、カフェ全国制覇
⑤人のために全力で働く！、良き父



①茨城県 茨城県立竜ヶ崎一高
②外山ゼミ 中国政治
③中国 張家界
④新しいことに挑戦
⑤プロフェッショナルになる

Column 2

主な就職先一覧（令和2年度）

公務員・独立行政法人・NPO

- (国)総務省 ●(国)文部科学省
- (国)東京税関 ●(国)陸上自衛隊
- (独)中小企業基盤整備機構
- (独)国際協力機構(JICA)
- (独)日本貿易振興機構 ●(地)横浜市役所
- (地)埼玉県庁 ●(地)広島市役所

商社

- 住友商事株式会社三井物産株式会社

マスコミ・広告

- 日本放送協会(NHK)千葉テレビ放送株式会社
- 株式会社電通

製造・建設

- 岩井化学薬品株式会社 ●鹿島建設株式会社
- 川崎汽船株式会社
- 九州旅客鉄道株式会社(JR九州)
- 京浜急行電鉄株式会社
- 昭和コンクリート工業株式会社株式会社
- 商船三井株式会社 ●豊田自動織機西
- 松建設株式会社 ●日本たばこ産業株式会社
- ライオン株式会社

流通・運輸・通信・情報・エネルギー・不動産・人材等

- アイエンジニアリング株式会社 ●アクセンチュア株式会社
- アナグラム株式会社 ●伊藤忠ロジスティクス株式会社
- 株式会社インテージ ●株式会社インテック(I T)
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ(NTTデータ)
- エン・ジャパン株式会社 ●株式会社オープンハウス
- キャノンメディカルシステムズ株式会社
- 株式会社ケーエムケーワールド
- ゴールドマン・サックス証券会社 ●新東亜交易株式会社
- 株式会社スプリックス
- 株式会社セゾン情報システムズ本社
- 第一生命情報システム株式会社
- デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社
- 株式会社ドゥ・ハウス ●日本電気株式会社(NEC)(2名)
- パーソルプロセス&テクノロジー株式会社
- 日野自動車株式会社
- フェデラルエクスプレスジャパン合同会社
- 富士ソフト株式会社(秋葉原オフィス)
- 北海道瓦斯株式会社
- 三井不動産レジデンシャル株式会社
- 株式会社メガ・テクノロジー
- 株式会社リソー教育 ●レッドブル・ジャパン株式会社
- AGC株式会社 ●株式会社FUNDBOOK
- 株式会社LITALICO



- ①茨城県 茨城県立並木中等教育学校
- ②井出ゼミ 言語人類学
- ③ヨーロッパ
- ④世界のディズニー制覇!!
- ⑤自由奔放に生きていたい!



- ①Beijing, China 国立東京工業大学附属科学技術高等学校
- ②毛利ゼミ 倫理学
- ③顔もしらぬ両親の故郷
- ④俺を捨てた親父を探し出して温かい飯食わせてやるんだ。これが本当の愛なんだって。
- ⑤definitely 老害



- ①宮城県 宮城県古川高校
- ②中野ゼミ 開発経済学
- ③トルコ
- ④映画を作る
- ⑤株で大儲け ^ ^



- ①北海道 札幌南高校
- ②ミンミンゼミ
- ③パタゴニア
- ④執筆業
- ⑤蕎麦屋で昼から呑むおじさん



- ①新潟県 新潟県立長岡大手高校
- ②柏木ゼミ 計量経済学
- ③エジプト
- ④ピラミッドの前でラクダに乗る
- ⑤楽しい毎日を送る



- ①千葉県 千葉県立東葛飾高校
- ②柴田ゼミ 比較国際教育
- ③ウィーン、ロンドン、ブロードウェイ
- ④世界中の劇場&美術館巡り
- ⑤ゆとりのある生活を送る



- ①北海道 北海道立帯広柏葉高校
- ②岡ゼミ 情報科学と人類学
- ③アラスカ
- ④スーパーロングヘアの全頭ブリーチ
- ⑤自信と行動力の塊みたいなひと!



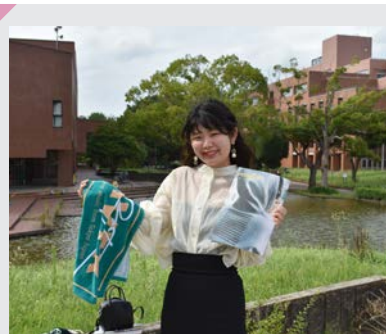
- ①鳥取県 鳥取県立米子東高校
- ②井出ゼミ 言語人類学
- ③ヴェルサイユ宮殿
- ④お金を気にせずに買い物しまくる
- ⑤夢中になれるものを持ち続けたい



- ①茨城県 茨城県立水戸第一高等学校
- ②大倉ゼミ 国際関係
- ③グレートバリアリーフ
- ④猫に生まれ変わる
- ⑤バリキャリになる!!



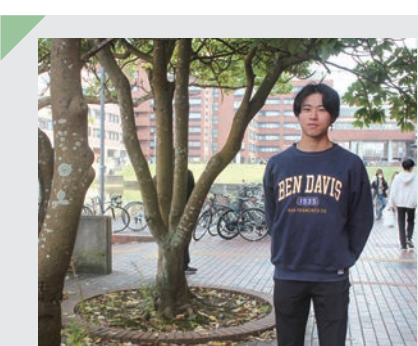
- ①宮城県 仙台第一高校
- ②内藤ゼミ 公共政策
- ③イグアスの滝
- ④世界中の図書館を巡る
- ⑤親友や家族との時間を大切に楽しく生きる



- ①岐阜県 岐阜県立岐阜高校
- ②外山ゼミ 国際政治
- ③ポーランド
- ④菅田将暉に会う
- ⑤自立した人間になる



- ①東京都 都立国際高校
- ②白川ゼミ 河川・水環境
- ③オランダ
- ④オーロラを見たい
- ⑤何度でも学び直せる人



- ①千葉県 私立武蔵高校(東京都)
- ②社会開発実証研究ゼミ 開発経済学ゼミ
- ③コロナ禍じゃない世界線の韓国
- ④ラグビーワールドカップの決勝を観に行く
- ⑤お金を稼ぐ



- ①茨城県 茨城県立緑岡高校
- ②松島ゼミ
- ③インド・フィンランド
- ④ホストファミリーに会いに行く
- ⑤いつまでもパワフルに生きる!友達と定期的に女子会するようなおばあちゃんになりたい!



- ①千葉県 千葉県立東葛飾高校
- ②内藤ゼミ 経済学
- ③インド
- ④ガンジス川で沐浴
- ⑤貧困削減の一翼を担う

Column 3

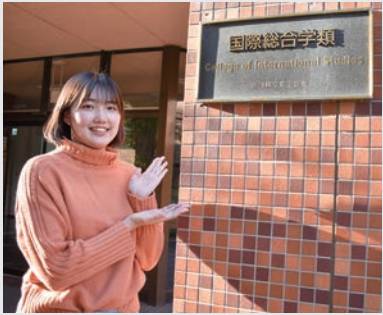
はじめての雙峰祭

2022年度、対面での雙峰祭（筑波大学の文化祭）が2年ぶりに開催されました。3年生にとって初の雙峰祭ということは企画運営者のほとんどにとって初の雙峰祭です。多くの国際系サークルが飲食店を企画し、私の所属するサークルも参加しました。「え、全然準備してくない？」と慌てながら当日を迎え、食材が途中で足りなくなったり、想像以上に調理に時間がかかったりとハプニングはありましたが、朝から後輩と一緒に準備したり同期と店をまわったりと、すべて楽しい思い出です。特に、多くの学生や家族連れで大学が賑わう光景や後夜祭でのライブや花火に筑波大生がはしゃぐ様子はとても新鮮で素敵なものでした。まだ制限も多いですが、雙峰祭が今後さらに活気を取り戻して、より多くの人が楽しめることを願っています。大学の雰囲気を知る良いチャンスでもあるので、ご興味があればぜひお越しください。

※2022年度の雙峰祭は入場予約が必要でした。来場希望の方は事前に大学の公式情報をご確認ください。

08 学生紹介

①出身地・出身校 ②所属ゼミ ③行きたいところ ④死ぬまでにしたいこと ⑤将来像



- ①茨城県 竹園高校
- ②外山ゼミ 東南アジア政治
- ③フロリダのディズニー
- ④スーパーボウルの観戦
- ⑤世界旅行



- ①大阪府 立命館高等学校
- ②外山ゼミ 東南アジア政治
- ③モルディブ
- ④世界一周旅行
- ⑤南国で笑って暮らす！



- ①新潟県 新潟県立村上中等教育学校
- ②田中ゼミ グローバル経済研究
- ③イタリア北部/熊本県
- ④誰かの人生を変える
- ⑤山奥で半自給自足の生活をする。



- ①茨城県 茨城県立緑岡高等学校
- ②内藤ゼミ 公共経済学
- ③世界各国のディズニーランド
- ④オーロラを見る
- ⑤新たなことにチャレンジする大人



- ①千葉県 千葉県立千葉東高校
- ②黒川ゼミ
- ③ロサンゼルス
- ④豪華客船に乗る
- ⑤めっちゃいい車に乗る



- ①埼玉県 埼玉県立熊谷女子高校
- ②中野ゼミ 開発経済学
- ③リオのカーニバル
- ④時間や環境に縛られずにやりたいことを生きている
- ⑤仕事もプライベートも最高に充実したキャリアウーマン



- ①東京都 東京都市大学付属高校
- ②外山ゼミ
- ③ベネズエラ
- ④サッカーのW杯を生観戦する
- ⑤どの瞬間を切り取っても人に囲まれ楽しめている人



- ①千葉県 千葉県立船橋高等学校
- ②大倉ゼミ 市民社会論
- ③北海道
- ④NBA観ること
- ⑤軸のある人間



- ①福岡県 福岡県立修猷館高校
- ②外山ゼミ 国際政治
- ③トルコ
- ④流氷ウォーク
- ⑤地元で暮らす



- ①福島県 福島県立福島東高校
- ②ユウゼミ 計量経済学
- ③オーストラリアのビーチ
- ④死ぬまでにしたいことをすることが、私の死ぬまでにしたいことです。
- ⑤アフリカで働く！



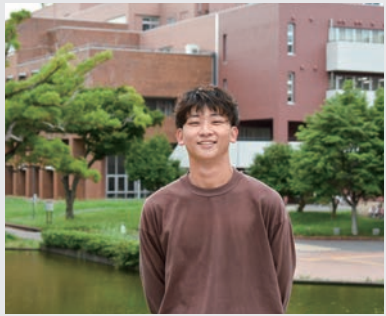
- ①佐賀県 佐賀県立佐賀西高等学校
- ②外山ゼミ 東南アジア政治
- ③遠いどこか
- ④んー。
- ⑤元気に生きる



- ①神奈川県 山手学院高等学校
- ②関根ゼミ 文化開発
- ③アメリカ
- ④世界一周
- ⑤海外在住



- ①岡山県 岡山県立倉敷天城高校
- ②外山ゼミ 国際政治
- ③スペイン
- ④世界一周
- ⑤責任感のある大人になる



- ①広島県 私立 修道高校
- ②田中ゼミ 国際開発
- ③アンフィールド（イギリス リヴァプール）
- ④サッカー W杯を日本で開催すること
- ⑤自分でも予想できないような人生をおくる！



- ①福岡県 福岡県立城南高校
- ②井出ゼミ ことばと文化
- ③フランス
- ④オーロラを見る
- ⑤国際機関で働く



- ①茨城県 茨城県立竹園高校
- ②寺内ゼミ 地域社会における多文化共生
- ③カリフォルニア行きたい！
- ④世界の秘境をめぐる^^
- ⑤カッコ良く生きる！笑



- ①沖縄県 沖縄県立那覇国際高校
- ②白川ゼミ 環境
- ③軽井沢
- ④ドリフト
- ⑤



- ①東京都 芝高校
- ②大友ゼミ 国際安全保障
- ③ソグネ・フィヨルド
- ④F1のモノコグラプリを見に行く
- ⑤やさしくありたい

08 学生紹介

①出身地・出身校 ②所属ゼミ ③行きたいところ ④死ぬまでにしたいこと ⑤将来像



- ①大阪府 生野高校
- ②柏木ゼミ 国際開発
- ③フェズ（モロッコ）、チュニジア、パリ、韓国、ドイツ!!
- ④財団をつくること
- ⑤キャリアウーマン



- ①滋賀県 滋賀県立八日市高校
- ②田中ゼミ 経済学
- ③パナマ
- ④コーヒー屋さんをつくること
- ⑤夢中になれる環境で働くこと!



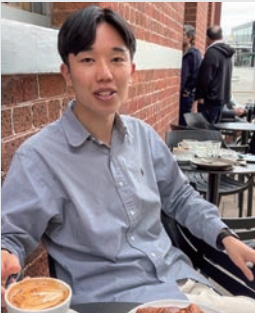
- ①静岡県 静岡県立富士高校
- ②潘ゼミ 日本外交
- ③完成する前のサグラダファミリア
- ④お遍路
- ⑤何歳になっても舞台上に立ち続ける!



- ①東京都 都立桜修館中等教育学校
- ②寺内ゼミ 国際開発
- ③カナダ
- ④世界一周
- ⑤自分を持ってるカッコいい大人になる



- ①茨城県 茨城県立下館第二高校
- ②亀山ゼミ 自然言語処理
- ③アイスランド
- ④エベレスト登頂
- ⑤生涯学習



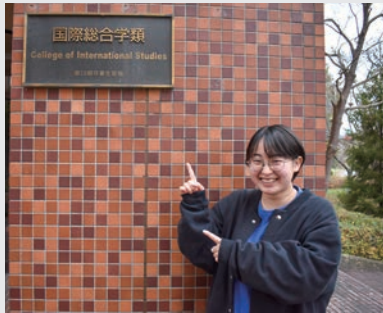
- ①群馬県 群馬県立中央中等教育学校
- ②内藤ゼミ 計量経済学
- ③フィンランド
- ④出来るだけ多くの国を巡りたい
- ⑤仕事を楽しみ、幸せな家庭を築くこと!



- ①埼玉県 埼玉県立春日部高校
- ②奥島ゼミ 環境政策
- ③9と4分の3番線
- ④マヤ文明を堪能したい
- ⑤アイルランドで勤務



- ①東京都 青稜高校
- ②柴田ゼミ 教育開発
- ③ヨーロッパ
- ④世界中のディズニーランドに行く(合計6つ)
- ⑤自信をもって好きな事を追求する



- ①新潟県 新潟県立津南中等教育学校
- ②井出ゼミ 言語人類学
- ③エジプト
- ④M-1グランプリ決勝の観覧に行く
- ⑤楽しく、気の向くままに



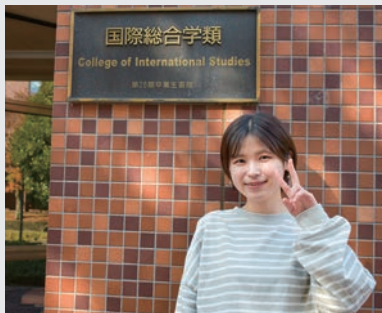
- ①福島県、私立高校
- ②井出ゼミ 移民研究
- ③中南米
- ④できるだけ多くの国出身の人と出会い、できるだけたくさんその人たちと話をすること
- ⑤最低限の生活費を稼ぎ、自由に暮らす



明日のEXECUTIVE



- ①三重県 三重県立津高校
- ②白川ゼミ 水環境・河川
- ③四万十川
- ④自分の何倍もの大きさのクジラが泳いでいるのを見て圧倒されたい(他にもいっぱい)
- ⑤後悔のない人生を送りたい



- ①沖縄県 沖縄県立那覇国際高校
- ②柴田ゼミ 比較国際教育
- ③タイ
- ④親孝行
- ⑤おばあちゃんになったらネコとのんびり暮らす



- ①新潟県 新潟南高校
- ②黒川ゼミ 国際経済
- ③イギリスとトルコ
- ④世界中の絶景をみたい
- ⑤充実した楽しい人生!



10 学生生活

